

## 今週の内容

- ・ 注意する感染症
- ・ 定点医療機関コメント
- ・ 全数把握感染症発生状況
- ・ 平成 18 年 9 月分月報
- ・ 感染症だより ( 9 月後半 )
- ・ WHO 疫学週報抄訳
  - 2006 年 09 月 29 日 (81 巻 39 号)  
麻しん:WHO アフリカ地域の根絶作戦 1999 - 2005 年
  - 2006 年 10 月 06 日 (81 巻 40 号)
    - 1)鳥インフルエンザ:インドネシアの近況
    - 2)リンパ系フィラリア症による障害の予防会議
- ・ 五類定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

## 注意する感染症

### マイコプラズマ肺炎

本年は全国的に過去 5 年間と比較して患者報告数が多い状態が続いています。また、過去 5 年間では、38 週から 50 週頃までは患者報告数が増加傾向です。全国の詳しいデータについては以下のウェブページ\*をご覧ください。

愛知県では、40 週の定点あたり患者報告数は 0.46 人 (6 人 / 13 基幹定点) です。定点医療機関からのコメント (p.2-3) においても、40 週は特に多くなっています。

基幹定点医療機関におかれましては、患者数の正確な把握のため、マイコプラズマ肺炎を診断された場合は報告をお願いします。



\* 国立感染症研究所・感染症発生動向調査「感染症週報」(第 38 週)

<http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2006/idwr2006-38.pdf>

愛知県衛生研究所「マイコプラズマ肺炎」

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/mycoplasma1.html>

愛知県感染症情報センター

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

1歳女 マイコプラズマ気管支炎  
特定な疾患の流行は認めないが、普通感冒が増加。

【一宮市 後藤小児科医院】

病原性大腸菌O1 24歳女

病原性大腸菌O125 1歳男

マイコプラズマ感染症 15名

【一宮市 城後小児科】

手足口病 8歳女 4歳女ありました。

【犬山市 武内医院】

感染性胃腸炎がやや目立ちます(嘔吐を伴う例は少ないです)。

アデノウイルス感染症4名ありました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ウイルス性胃腸炎が少し増えてきました。あとはおちついていきます。

【岩倉市 なかよしこどもクリニック】

44歳女 サルモネラ検出

12歳男、4歳女、10歳女、42歳男 マイコプラズマ感染症

【春日町 丹羽医院】

<STD定点コメント>

淋菌(咽頭) 36歳・女

【蟹江町 医療法人久保田産婦人科】

### 尾張東部地区

5歳男、カンピロバクター腸炎+病原大腸菌O153

マイコプラズマ感染多い。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

マイコプラズマ感染症が少し目立ちました。

その他、目立った感染症はありませんでした。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

O18 カンピロバクター 2歳男

【尾張旭市 旭労災病院】

ムンプス少ないがあります。

マイコプラズマ肺炎、依然多いです。

【春日井市 春日井市民病院】

リンゴ病増加。

プール熱、水痘、溶連菌、ムンプス少々。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

マイコプラズマ肺炎の入院患者は数名ありますが、外来の感染症患者は少ない。

【小牧市 小牧市民病院】

特に目立った感染症はありません。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

<STD定点コメント>

クラミジアと淋菌の混合感染が26歳、42歳の男性に認められた。

【半田市 かみいけクリニック】

---

## 西三河地区

---

2歳男 イムノカードSTアデノ(+)  
7歳男、8歳男 StrepA(+)  
0歳男 E.coli(O6)+カンピロバクター  
1歳男 E.coli(O6)  
1歳男 E.coli(O18)+E.coli(O6)  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
岡崎市内某小学校の3年生のークラスに  
マイコプラズマ肺炎症状の集団発症児童  
(11名)あり。  
【岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院】  
病原大腸菌血清混合 1(+ )O1(+ )  
5歳女  
サルモネラO9群 2歳男  
【岡崎市 花田こどもクリニック】  
10歳男 溶連菌感染症  
水痘症、流行性耳下腺炎 目立ちます。  
アデノウイルス感染症、溶連菌感染症  
散見されます。  
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

3歳女 マイコプラズマ肺炎  
6か月女 病原性大腸菌O153(+ )VT(-)  
カンピロバクター 11歳女、13歳女  
【岡崎市 にいのみ小児科】  
8歳女 マイコプラズマ肺炎  
8歳男 マイコプラズマ肺炎  
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
ムンプスいます。  
【碧南市 永井小児クリニック】  
伝染性単核球症 1例 3歳  
【刈谷市 田和小児科医院】  
溶連菌感染症が増えてきました。  
【三好町 三好町民病院】  
下痢が増加  
【西尾市 やすい小児科】  
8歳女 マイコプラズマ肺炎  
【幸田町 とみた小児科】

---

## 東三河地区

---

幼稚園、保育園で感染性胃腸炎が流行中。  
手足口病の子が時々います。  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
嘔吐・下痢が流行しています。  
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

特に流行疾患なし。  
【豊川市 豊川市民病院】  
サルモネラ 3歳 男 (O-9)  
【豊川市 ささき小児科】

一 ～ 三類感染症の発生状況 - 愛知県(名古屋市を除く。) -

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun060612.pdf>)

細菌性赤痢 (二類感染症)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備 考
1	江 南	43	女	9 / 25	9 / 27	10 / 2	推定感染地域； グルジア <39週報掲載分・再掲>
2	衣浦東部	46	男	9 / 29	9 / 29	10 / 3	推定感染地域；中国 <39週報掲載分・再掲>

パラチフス (二類感染症)

1	瀬 戸	35	女	9 / 2	9 / 7	10 / 3	推定感染地域；中国 <39週報掲載分・再掲>
---	-----	----	---	-------	-------	--------	---------------------------

腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	O血清型、ベロ毒素型
1	知 多	29	女	- / -	10 / 3	10 / 6	O157、VT1・VT2 (+)
2	豊田市	21	女	9 / 25	10 / 5	10 / 5	O157、VT1・VT2 (+)
3	一 宮	27	女	- / -	10 / 3	10 / 6	O157、VT2 (+) <無症状病原菌保有者>

9 月の一～五類感染症（全数把握対象）発生状況

「診断日」に基づく集計です。

平成 18 年度に発生があった疾病名 内は全数把握対象疾病数	平成 18 年 9 月			平成 18 年度 累 計 <愛知県>	内訳 (9 月)
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全 体		
一類 感染症 7				発生報告無し	
二類 感染症 6	コ           レ           ラ			3〔2〕	
	細   菌   性   赤   痢	3		3	18
	腸   チ   フ   ス		1	1	3(1)
	パ   ラ   チ   フ   ス				2
三類 感染症 1	腸管出血性大腸菌感 染	17(4)	12(5)	29(9)	160(48) 026       5 件 0111      2 件 0157     22 件
四類 感染症 30	E   型   肝   炎				1
	A   型   肝   炎	1		1	4
	つ   つ   が   虫   病				2
	デ   ン   グ   熱				2
	マ   ラ   リ   ア	1	1	2	2
	レ   ジ   オ   ネ   ラ   症	2	4	6	19
五類 感染症 14	ア   メ   ー   バ   赤   痢	5	1	6	25
	ウ   イ   ル   ス   性   肝   炎 (E 型 肝 炎 及 び A 型 肝 炎 を 除 く。)	1		1	5       B 型   1 件
	ク   ロ   イ   ツ   フ   ェ   ル   ト   ・ ヤ   コ   ブ   病	1	1	2	4
	劇   症   型   溶   血   性 レ   ン   サ   球   菌   感   染   症				3
	後   天   性   免   疫   不   全 症                                    候                                    群		6	6	52       A I D S   1 件 無   症   候   性   5 件
	ジ   ア   ル   ジ   ア   症				2
	髄   膜   炎   菌   性   髄   膜   炎				1
	梅                                    毒		2	2	23       早   期   顕   症   2 件
	破                                    傷                                    風	1	1	2	3

〔 〕内は疑似症患者再掲

( )内は無症状病原体保有者再掲

\* レプトスピラ症 (36 週報告分)、梅毒、1 件 (38 週報告分) は、削除されました。

## 五類感染症（月報定点把握対象）発生状況

No	疾 病 名	平成 18 年 9 月			平成 18 年 8 月*		
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体
1	性器クラミジア感染症	119	38	157	97	25	122
2	性器ヘルペスウイルス感染症	23	8	31	32	7	39
3	尖 圭 コ ン ジ ロ ー マ	30	11	41	35	7	42
4	淋 菌 感 染 症	66	26	92	54	18	72
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	55	6	61	76	14	90
6	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1		1	3	2	5
7	薬剤耐性緑膿菌感染症						

上記の報告数は感染症月報指定届出機関( 性感染症 : 51、基幹 : 13 医療機関 )で把握したものです。

\* 8 月分については追加報告がありました。

### 感染症の類型及び定義

類 型	定 義
一類感染症 (7 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (6 疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (1 疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (30 疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症（人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。）
五類感染症 (42 疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
指定感染症 (1 疾病)	既知の感染症（一～三類感染症を除く）のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与える恐れがあるもの。一年間に限定した指定。インフルエンザ（H5N1）が平成 18 年 6 月 2 日に指定された。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

秋晴れの日が続くようになりました。お休みの日に家で仕事をしていますと近くの小学校から賑やかな声や音楽が風に乗って聞こえてきます。運動会シーズン。先日、ちょっと見物していたら、小さなアスリート達が大活躍していましたが、騎馬戦の乗り手が紅か白の手袋をしていました。相手に傷をつけない配慮みたい。先生も大変です。ところでいつも貴重な情報を有難うございます。9月後半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内:城北病院渡辺先生からは感染がらみの喘息が急増、時間外患者もやや増加、下痢症の患者が増加してきたが原因がはっきりしない例が多く、RSウイルス陽性者はほとんどなし、第二日赤岩佐先生からはライノウイルス感染らしいのが多くなり、ムンプスの要入院例あり、マイコプラズマ感染症の入院が多い、千種区今枝先生からは伝染性紅斑保育園女児2歳10ヵ月、急性喉頭炎1歳6ヵ月女児各1例、三菱病院入山先生からはA群溶連菌咽頭炎4名(2名入院)、手足口病と伝染性紅斑が2名ずつ、咽頭結膜熱1名(入院)、気管支炎～マイコプラズマを含む気管支肺炎の入院が7名と目立った、中京病院柴田先生からはRSの入院例が出始め、無菌性髄膜炎も少しずつ残っている、大同病院水野先生からはマイコプラズマ肺炎が目立ち、喘息重積を合併して入院する例が多く、時に手足口病あり、ムンプスと水痘が流行中とのお手紙でした。
- 2) 尾張地区:犬山市武内先生からは感染性胃腸炎とムンプス(髄膜炎1例)がそれぞれ散発中、江南市昭和病院小児科からは伝染性紅斑が目立ち、マイコプラズマ肺炎、喘息発作、アレルギー性紫斑病それぞれの入院が目立つ、常滑市民病院高橋先生からは手足口病が再びみられ、水痘と伝染性紅斑が少数あり、感染性胃腸炎で下痢が2回以上続くものが目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区:加茂病院梶田先生からは喘息がやや増加、急性胃腸炎もやや増加、入院数は全体に激減、肺炎ではマイコが多くRSはまだ出ていない、急性虫垂炎が目立った、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎とマイコプラズマ感染症が2~3例ずつあり、碧南市永井先生からはムンプスが地区により流行中、豊橋市長屋先生からは水痘が少々あり、とのお手紙でした。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2006 年 9 月 29 日（81 巻 39 号）<http://www.who.int/wer/2006/wer8139/en/index.html>

WHO アフリカ地区における麻疹制圧活動が麻疹発生に与えたインパクト。99 05 年。背景：99 年、麻疹による死亡は全世界で約 87 万例、うち 61% がサハラ砂漠以南の諸国で発生している。01 年にアフリカ地域 46 カ国で 05 年までに麻疹死亡 50% 減を目標に麻疹対策強化活動が開始。作戦は a) 麻疹ワクチン定期接種活動の改善、b) 2 回接種の普及、c) 治療法の改善、d) 臨床的麻疹の全例について血清診断による確定診断、サーベイランス精度改善。96 年にマラウイ、ボツワナ、ジンバブエ、ナミビアなど南アフリカ 7 カ国で、国家単位の定期接種外の補充予防接種活動(Supplementary Immunization Activities, SIAs)による 2 回接種をはじめとする作戦開始。01 年には貧困国を含む 32 カ国が参加、定期接種と SIAs による 2 回接種普及とサーベイランス強化が進行している。予防接種活動の実績：WHO / ユニセフは各国保健省の公的報告と専門家の調査を元に毎年麻疹ワクチン推定接種率を発表している。アフリカ地区全体では 1 回接種児が 99 年に 52%、04 年には 67% と上昇、17 カ国では 80% 以上と推定されている。01 年 12 月 - 04 年 12 月には 25 カ国が緊急臨時(Catch-up)SIAs を実施し、10 カ国が追加(Follow-up) SIAs を実施、コンゴ共和国やエチオピアなど 7 カ国を除けば接種率は 90% 以上であった。04 年 12 月の Catch-up 接種では 32 カ国で 20,790 万名の小児(15 歳以下小児の 69%) が、Follow-up 接種では 10 カ国で 1,620 万名の小児(5 歳以下小児の 14%) が接種対象となった。麻疹サーベイランス：1980 年代から国別に麻疹届出数が WHO に報告されている。血清診断確定例は増加しているが臨床診断例が多い。血清診断は IgM 抗体法。確定例が 3 例以上発生した場合、その地域における続発例は血清診断なしで確認例として扱う。確認のための採血の目標は 80%、ニジェールとタンザニアでは集団発生の例の確認用採血率は 80% 未満、それ以外の諸国では 90% 以上となっている。サーベイランス結果解析：麻疹制圧活動の麻疹流行に与えた影響を推定するため、Catch-up SIAs 開始時期によりアフリカ地域諸国を A、B、C 三群に分けて 90 05 年の麻疹サーベイランス結果を分析した。A 群 = 7 カ国。96 00 年に Catch-up 完了。B 群 = 25 カ国。01 04 年に Catch-up 完了。C 群 = 8 カ国。05 06 年に Catch-up 開始進行中で未解析。A 群(南アフリカ、マラウイ、ジンバブエなど)では 99 年以降減少、B 群(エチオピア、ニジェール、ケニア、タンザニア、ウガンダ、ガーナ、マダガスカルなど)でも 01 年まで増減があったが以後激減、一方 C 群(ナイジェリア、コンゴ共和国、象牙海岸、中央アフリカなど。注：小児人口多く、内戦、内乱が続いている国々)では 10 年以上増減を繰り返している(A 群、B 群の 15 歳以下小児人口、99 年の麻疹届出数、05 年の麻疹の臨床診断、確定診断届出数の国別一覧表と A B C 各群の 1990 2005 年の年別、群別届出数のグラフあり)。WHO アフリカ地域全体としては年による増減はあるが 98 00 年 3 年間の平均年間麻疹報告数を 05 年報告数と比較すると 93% 減であった。

9 月 22 28 日届出。コレラ：ニジェール、スーダン、ジンバブエ、インド。



鳥インフルエンザ。インドネシアの近況：10月3日、インドネシア保健省は同国の69例目のH5N1人感染確認例を発表。21歳女性、東ジャワ居住。発病9月19日、入院同25日、10月3日現在入院中。本例は9月18日に死亡したH5N1感染例の姉。家族調査で発見、9月24日報告、隔離、タミフル投与。感染源は調査中であるが弟、姉共に病鶏と直接の接触あり。同国H5N1人感染累計69例中死亡52例となった。

リンパ系フィラリア症(Lymphatic filariasis, LF。注：蚊によって媒介される寄生虫＝糸状虫症のうち、リンパ系に寄生、リンパ管腫や象皮病、陰のう水腫などを発症。熱帯地方に広く分布。以前は本邦にも風土病的にあったが撲滅された。蚊の吸血で幼虫が体内に侵入、リンパ節で成虫となり10年以上の長期にわたり寄生、雌が幼虫を流血中に放出、蚊が吸血して感染源となる。幼虫が夜間だけ血中に出現するバンクロフト糸状虫と昼も出現するマレー糸状虫がある。感染後、急性期には発熱、リンパ節炎をおこし、反復し慢性期には象皮病や陰のう水腫による障害が発生する。犬のフィラリア症は人に感染せず無関係)。WHO私的諮問専門家委員会。06年8月：1997年、WHOはLF根絶計画開始、作戦はLF常在地区住民に対する薬剤一斉投与。罹患者の障害発生予防。LF常在83カ国中42カ国で薬剤一斉投与が進み、有効性が発揮されているが、罹患者の障害発生予防の有効性も注目されている。WHOは私的専門家チーム(行政、臨床、公衆衛生学などの専門家とWHO、ユニセフ、世銀などの担当者)を組織して8月23-24日、WHO本部で勧告、指針作成会議を開催した。参加者はブラジル、ブルキナファソ、ギアナ、インドネシア、マダガスカル、スリランカ、東チモール、トーゴ、ウガンダ、タンザニア、ハイチ、インド、マリ、ナイジェリア各国の報告を元に対策指針勧告原案を作成し、LF、急性皮膚リンパ管炎(Acute dermatolymphangiadenitis, ADLA、下記)治療指針の原案も作成した。総論：会議参加者が最初に指摘したのは常在地における人的物的資源の欠如であり地域における資源活用の有効性の重視を確認。以下1) 予防・治療にバンクロフト糸状虫とマレー糸状虫で違いはない。2) 他の所見(好酸球肺炎や血尿)は少なく、参考にならない。3) 感染予防と障害予防の相乗効果が重要。4) LFによる社会経済的損失が重要。5) 15歳以下のLF発病者は稀でもし居たら早期治療が必要である。6) 住民を対象とした教育活動が重要である。リンパ浮腫の自己治療：病変皮膚の洗浄と乾燥、患部下肢の挙上と運動によるリンパ流の促進、保健センターにおける指導。ADLAの治療プロトコール：急性の発熱、下肢や陰部の発赤腫脹、疼痛で診断し鎮痛剤、ペニシリン系抗生剤投与。抗フィラリア剤は死亡虫体による発熱など全身反応あり使用しない(保健スタッフ用急性期ADLAプロトコールあり)。リンパ浮腫の自己管理中の例は月1回追跡と指導する(詳細なプロトコールあり)。陰のう水腫：医療センターにおける診断、必要に応じて外科的手術(2002年、WHOはガイドライン出版)。障害予防のモニタリング。1) リンパ浮腫：患者数推定。2) ADLA頻度。3) 保健担当者の訪問回数チェック。4) 陰のう水腫の患者数と水腫切除者の割合。5) 障害全体の把握と改善状況チェック。6) 今後の課題として上記勧告の確認。

9月29日 10月5日届出。コレラ：アンゴラ、ケニア、スーダン。

愛知県感染症情報

2006年第40週(平成18年10月2日～平成18年10月8日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
<b>愛知県 (名古屋市を含む)</b>	195	182	35	51	13	1	0	31	157	587	99	96	66	118	0	0	23	1	140	1	21	0	0	6	0	0
<b>総数 (名古屋市は除く)</b>	125	112	24	37	12	0	0	29	101	410	85	77	55	92	0	0	11	0	118	1	11	0	0	6	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	1		2	56	177	14	19	11	26			12	1	22		10					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1		2	11	23	5	2		6					1		1					
海部	津島	7	7	2	2	1			4	12	6	6	1	2					3					1		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			3	1	10	1	4	1						1		1					
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		3	9	37	7	1	9	9					2		7					
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1		5	1	6	5	6	9	7			1		6		1					
	江南	6	6	1	2			6	11	41	6	4	3	11					5							
知多半島	半田	6	6	1	2	1			6	18	2	1	2	9			1		15					1		
	知多	7	7	2	2			4	3	16	4	6	3	9					16							
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		2	11	7	11	1	5	11			1		10	1						
	衣浦東部	13	13	2	4	1		1	12	38	4	4	1	5			2		16		1			2		
	西尾	5	5	1	2	1			3	8	4		2	2					10							
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1		1	9	48	13	2	5	8					9					1		
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1			7	112	4	12	4	9			3		7					1		
	豊川	9	8	1	2	1		1	13	34	12	28	9	4			3		16							
東三河北部	新城	2	2			1		1			1		1						1							

